

ベトナム教育視察

【ジェネラルインフォメーション】

長期間の戦争は教育制度にも深刻な打撃をあたえたが、1979 年以來カリキュラムの再編がおこなわれ、授業内容の標準化、社会主義教育理念の強化、職業教育の高度化がすすめられた。学校教育は全般的に普及しており、2000 年度には初等学校に 975 万人が就学している。義務教育は 6～14 歳の 9 年間。大学にはハノイ大学(1956 年創立)やホーチミン市大学(1977)などがある。89 年には、54 年の南北分割以來初の私立大学であるタン・ロン大学がハノイに開校した。15 歳以上の識字率は 94%である。

一般の月給は 15000 円程度 バイクは日本製で 10 万円 中国製で 6 万円

その為、バイクは 1 年間働いて買うか、親の援助がないと無理

特に人気の日本製は現金のみで購入 ローンは中国製のみ

免許は 50CC 不要 バイク免許は 175CC まで それ以上の排気量は警察など特別な許可が必要

基本的には成人 2 名乗り しかし、家族なら 4 名でも OK

年間 13000 人がバイク事故で死亡する その際の見舞金は 25 万円

子供は 2 名まで 3 名は罰金や会社を解雇となる

1 名あたり GDP 480ドル(2003年) 日本は 33710ドル(2003)

国立職業訓練校視察(中級の専門学校) 校長先生が対応

1975年に創立、80年代 - 90年代は恵まれない&不自由な人の学校となる

2000年からは専門学校、このような学校は各地にある

入学に際しては、障害者や貧乏、少数民族を優先している

2006 年末に新校舎完成 現在は建築途中で混雑している

時間割は午前の部 7:00 - 11:45、午後の部 12:00 - 17:00、夜間部 18:00 - 21:00

夕方からは語学学校になっている

教員数 140 名 教職員全員で 180 名

2000 人以上の生徒(男性 60%弱、女性 40%強)

ここで卒業したら、企業に勤められる

南の経済三角地帯(デルタ?)の真ん中に位置する

小学校卒業以上の生徒の場合は、3ヶ月の短期コースを受講

中学校卒業して、2年間の正規コースを修了する

正規コースには 15 歳から 35 歳までいる

卒業する 2 ヶ月間前にインターン

インターン後、インターン先に就職するのが一般的。というのはインターン先に就職すると、賃金がよい

3%くらいは上位の学校(大学)に行く

16の正規コース PC、自動車、電気、工業、家電、電信、冷蔵、縫製、デザイン、設計、溶接、鉄工、システム管理、コンピュータ保守、経理、秘書

授業料は12万ドン 1ヶ月 国からの補助があるので安価
私立の職業高校では30万ドンか40万ドンが一般的

このような専門高校の教師になるには、技術師範大学の修了が必要
入学試験はないが、中学の内申を参考にする
人気のあるコースは、電子工業、電気、PC系 なぜなら就職しやすいから
夜間の語学コースは昼間部の生徒、近所の人、昼間働いている人もいる
学校の寮はあるが、定員は300人 今後、600人規模にする

5週間の夏休み 8月の終わり1週間、9月一杯が休み
専門学校では小中学校に比べて、休みが少ない。
短期コースは毎月初めのスタートとなっている
600名が短期コースで学んでいる。

2年間のコースは10月から始まる 2年間
5 - 10%は落第する
制服を着ているのが2年コース
寮費は10万ドン 食事は別
校長は異動無し 65歳定年制 40年間教師 経済を教えている
女性に人気はデザインと経理
運動場は別に有り 校舎から見えるところ



VJCC ベトナム日本人材協力センター 牧 祥子さん

JICA が社会主義から市場経済化へスムーズな移行のための人材育成を目的として運営している
ベトナムドイモイ政策からの要請
外国貿易大学がベトナム側の担当となっている

VJCC には 3 本柱がある

- 1) ビジネスコース(中間管理職を対象)短期コース、各種セミナー
- 2) 日本語コース(日本語学習者、日本語教師を対象)短期集中コース、研修会、日本語スピーチコンテスト 3 ヶ月 日本語能力検定試験対策
- 3) 文化社会交流活動 日本文化の紹介、相互理解の促進 日本領事館と共催

その他、コンピュータ講座 ソフトウェア技術者養成

日本側はスタッフ4名、ベトナム側 15 名の共同運営となっている。

日本側は JICA が運営費用を負担し、ベトナム側は大学の敷地を提供、学校校舎も建設中
また、大学から人を派遣している

2000 年 9 月 5 年 フェーズ1が 3 本柱 認知度が広がってきたところ
第 2 フェーズ 5 年の協力機関 さらに深く広く ベトナム各地にも広げたい

(牧さんのヒヤリング 個人的意見と前置き)

援助活動 ODA の額でいえば、日本が一番多い。

ドイモイでマインドの転換が必要 ハノイとホーチミンとも違う ホーチミンは戦前、資本主義だったので、受け入れやすい土壌があった。しかし、日本のようにお客様第一主義とかはない。

30 代の青年実業家が起業している。

日系企業、車の部品、グンゼ等

大きい日系企業はハノイ ベトナムとしては北部を振興したかった

資本経済の成功事例はアメリカなのか、日本なのか？

日本製品は有名

ビジネスコースでは特に生産管理手法に力を入れている > 最終的に利益の向上に繋がる

日本語熱 20000 人 13000 人はホーチミン市

初級がほとんど 中上級は少ない

外国貿易大学の学生さん 3 年 4 年生

生活はしやすい 日本人と通ずるところ 儒教の影響 年長者、先生を敬う

書類を大切にす文化 紙が有ればスマートに通る

その場その場で要求される紙が違う

能率について そこまで厳しさというか、圧力をかけて仕事をさせない

手先は器用 集中力はある 優秀

日本語を中学校で教えるところ 2 カ所あり。

(大学生ヒアリング 3グループに分かれて)

マーケティング、経済も勉強

音楽、映画も好き 漫画 ドラえもん コナン

大学を卒業したら、仕事は輸出に関する仕事(りん)

論文を書いている 10月まで 1月

論文を書きながら、就職先を探す

大学、パートタイムジョブあり。

大学生のうちはいろいろな仕事をしたかった。

今はコンピュータを作る会社で通訳のアルバイトをすることがある。

卒業時に日本語能力検定2級程度の実力となる。

もし卒業したら、仕事をしたい。

就職して2年間くらいしたら、大学院にも行きたいと思う。

仕事をしながら、大学院に行きたい。夜間の大学院を希望している。

ベトナムはどういう会社が伸びているか？

木材、蝦、米を貿易商社が伸びている

15%がベトナムで小学校にいかない、小学校90%

ベトナムでは高校の卒業証明書は良い就職に欠かせない。



カンボジア教育視察

【ジェネラルインフォメーション】

6～12歳の初等教育6年間は義務教育となっている。2000年度には243万1142人が5527校の小学校に入学した。中等教育は2段階あり、それぞれ就学期間は3年である。高等教育機関は1970年代後半のポル・ポト政権下で閉鎖され、徹底した知識人弾圧によって多くの教師が虐殺されたが、80年代以降、プノンペン王立大学(1960年創立)などが復活・再開され、私立大学も設立されるまでになった。15歳以上の識字率は71.3%。

1名あたりGDP 320ドル(2003年) 日本は33710ドル(2003)

サラバイホテルスクール

2002年にフランスの財団からの援助にて開校

現在、毎年100名程度を小学校卒業から高校生までを受け入れている

基本として無償であり、貧しい人や田舎の人を対象

試験を受ける人はもっという(倍率有り)より貧しい人から選ぶ

レセプションコース、ハウスキーピングコース、キッチントレーニング、レストラントレーニングの4つの課程
レセプションは高校生 英語やフランス語を知っている

勉強はカンボジア、国語ができていないものは入らない 最初はメールを使えない

授業は英語で行う ホテルでは英語が大事 勉強はホテル関係以外にフランス語や数学もある

3期生までは卒業して皆、仕事に就いている 親に送金しているのがほとんど

11ヶ月間勉強する 最初の2ヶ月間は100人が同時に勉強

3ヶ月目からは半分はインターンへ

田舎の人は町の生活を知らない

学生寮は学校から金を出して借りている 自転車が無い人は貸し出す

朝食はパン、昼食付き 自転車修理代も学校が出す

女性が48人、男性が22名が入寮し、残りは通っている。

医療費も学校 一ヶ月10ドルのお小遣い

夕食は自分で作る 光熱費も学校

平均すると1500ドル程度使う 人件費込で

これらは寄付によってまかなっている。

フランス人による財団が運営している。

カンボジア政府は何もしない。唯一、卒業時に卒業証書にサインしてくれる(観光省と文部省)

Q)学校を開設したきっかけは？

1984年 内戦時代 98年から観光客が多くなった

母体となったフランス外務省などから、これに対応できる人材を育成することになった。

Q)卒業後の進路は？

全員卒業できる。そしてほとんどがシムリアップに就職する。325名の卒業生のうち、1名だけアラブに

行った女性が居るが。

Q) 学生選抜は？

親の無い人を選ぶ。片親、離婚、孤児等。また、家族の人数を把握すれば、だいたい貧しさがわかる。たとえば、同じ大きさの家族でも、就職率などで判断する。

入学希望者500人から、200人へは書類で減らす。200人は全部、校長先生が面接に直接行く。

エントリーシートを参照のこと

Q) 生徒について

17歳から23歳がほとんど。退学者は若干名で、2期生は2名、どうしても田舎に帰りたいという理由

Q) インターン先は契約か？

インターン先は契約で、ほとんどが4つ星以上。無料奉仕でパートタイムの賃金はない。

インターン先にそのまま就職するケースもある

Q) 入学時期は？

10月10日から入学で、8月卒業。修学旅行費用は直営レストランのチップ等を貯めて海へ行く。海を見たことがない生徒がほとんどだから。

Q) 教員について

5年以上の経験者を教員として雇用している。プノンペンからも来ている。

【エントリーシート及び聞き取り調査の内容】

(事前審査)

受験生の家庭のある正確な場所について、隣人に尋ねる

再度、受験生の住所を疑いない隣人か村の長に尋ねる

(面談試験)

< 個人情報 >

受験生の誕生日について、戸籍を調べる。また、その戸籍がオリジナルコピーであるか調べる。

年齢、誕生日、現在の学年、学校名、身長を尋ねる(合格、要再考、不合格)

< 家庭情報 >

孤児の場合

(母親の死亡時期と場所、父親の死亡時期と場所、今、誰と暮らしているか、その人の職業は何か)

離婚の場合

(何時何故離婚したか、今、誰と暮らしているか、その人の職業は何か)

両親健在の場合

(母親の年齢と職業、父親の年齢と職業、同居兄弟数とその兄弟が結婚しているか、職業があるか)

< 貧困状況 >

飼っている家畜の数(豚、牛、水牛、アヒル、おんどのそれぞれの数)

家の規模と広さ、築何年か(床、屋根、壁はそれぞれ何でできているか コンクリート、木材、タイル、椰子の葉など)

農地の有無(大きさ、場所、作物は何か)

田んぼの有無(大きさ)

畑(乾いた場所での米作)の有無(大きさ)

< 家族の収入状況 >

就職の場合

(国営か、その場合の月給と働き手は誰か)

(日雇いか、その場合の月給と働き手は誰か)
(自営業か、その場合の月給と働き手は誰か)
(私企業か、その場合の月給と働き手は誰か)
(その他の場合か、その場合の月給と働き手は誰か)

米農家の場合

(田んぼでは年間何トンの米が取れるか、自給で何トン使うか、売る場合の収入はいくらか)
(畑では年間何トンの米が取れるか、自給で何トン使うか、売る場合の収入はいくらか)

耕作の場合

(野菜はどれくらい取れるか、自給分と売る場合はいくらか)
(果物はどれくらい取れるか、自給分と売る場合はいくらか)

その他は奨学金の有無やモチベーション、志望動機、シェムリアップに知人が居るか等



NGO「カンボジアの戦略と発展」 ポールドゥブリュー ホテルと旅行学校

www.ecolepauldubrule.org

< 目的 >

NGO「カンボジアの戦略と発展」は、高度技術指導の要求に基づき、カンボジア旅行業の発展のために活動している。それらは 1)国際的ホテルのスタンダード、2)地元の雇用対策、を意味する

この学校の生徒はダイナミックで革新的なキャリア養成の為、高度な理論と実習が準備されている。これはその後の職業人生の成功を意味する。

このプロジェクトは教育困難な環境にある若いカンボジア人の為にも職業意識情勢にも寄与している。学生の50%以上は奨学金で勉強をしている。

職業訓練校(食品工芸、食品と飲料、接客、旅行業全般)

フランス資本による ACCOR 等が寄付

一人あたり2000ドルかかる 600ドルの学費 しかし、貧乏な者からは取らない

高校卒業試験受験者以上が入学資格
というのは、高校卒業証書を取れない者が多い
10000ドルの裏金が要求されたりする
その為、卒業証書を取らない = 卒業と言えない者も入学が可能となる



= ここからベトナムに戻ります =

国立フエ大学 www.hueuni.edu.vn

フエ大学側 副校長 数学科 総合課程 外国語大学 事務所の方
日本の大学と姉妹校提携 留学生も受け入れている(中央大学から夏期留学生等)
1957年創立 教員1316名(80名の教授、助教授 250名のPHD 600名のマスター)
4年制大学(6年制の薬学部も含む)
40の学部、27の修士課程、8の博士課程
その他、大学病院 中央病院 研究所等の施設がある
学生数5000名 ほとんどが中部の出身
ベトナム中部は本来、貧しいので、学生は一生懸命勉強する
フエ町は学生街 世界遺産になっている

もっとも人気のある学部は師範課程
やはり教員の給与が少ない事があり、政府が5年前から学費を無料にしたため
その他の学部、薬学を含む 年間120ドル
教員研究費は政府機関から出る 学長が分配の最終権限者となっている。



以下はフエ大学の学生センター



日本語教育センター

授業時間は8時から11時、2時から5時、6時から8時

現地雇用で日本に働きに行く企業事前研修が多い。

トレーニングは2ヶ月から4ヶ月が多く、だいたい1コース3ヶ月で100万ドン(8万円)

ここは安価な教育を提供しているので有名とのこと

夜間部は大学の学生さんが多い

日本では3年間くらい工場で働く者がほとんど、溶接、縫製、木工などが多い

日本語熱は高く、日本に行きたい留学生も多い。その場合は私費でお金持ち。

このほかにハノイには10程度、日本語学校がある。

ここは35人の先生を擁している。企業へ派遣して、そこで教える教師が多い。



以上